

岡山県笠岡市。まちの“いま”を描く、届ける。

わさおかわ スリッパ 04



こどもがまんなか。

Take Free



富岡保育園の日常

村上副園長は、日々子どもたちと同じ目線でおしゃべりしている。子どもの目線になってみると、今まで見えていた世界がガラリと変わるのに気づく。

photo by Haruko Nishi



園では、教室で工作をしたり歌をうたったり、園庭で体を動かすのはもちろん、島内を散歩しながら地域の人と触れ合うこともこの際の当たり前。前日常。すれ違う人が気軽に声をかけてくれるだけでなく、途中の畑で野菜を収穫さ

せてもらったり、ご近所さんの家で休憩させてもらうことも。園児2人の運動会は、保護者に加えて地域の人が40人以上参加し、大にぎわいだっとう。『地域の人と触れ合うことで、子どもたちはどんどん情緒豊かになっていくと思います。そして、子どもたちの存在が地域を元気にしているのを感じます。この小さな保育園を通して、子どもだけでなく、私も保護者も地域の人も、すくすく育っています!』と瑠花先生。『地域で子どもを見守り育てる』という想いが広がることで、島に新たな活気が生ま



くわのみすくすくえん — 地域全体で子どもを見守る 島のちいさな保育園

shop date
笠岡市白石島2482-1
☎ 080-2935-3693
(白石・島づくり委員会)
✉ runrun.1018@icloud.com

こどもがまんなか。

こどもたちがのびのびと健やかに育ち

おとなたちはそれを笑顔で見守る。

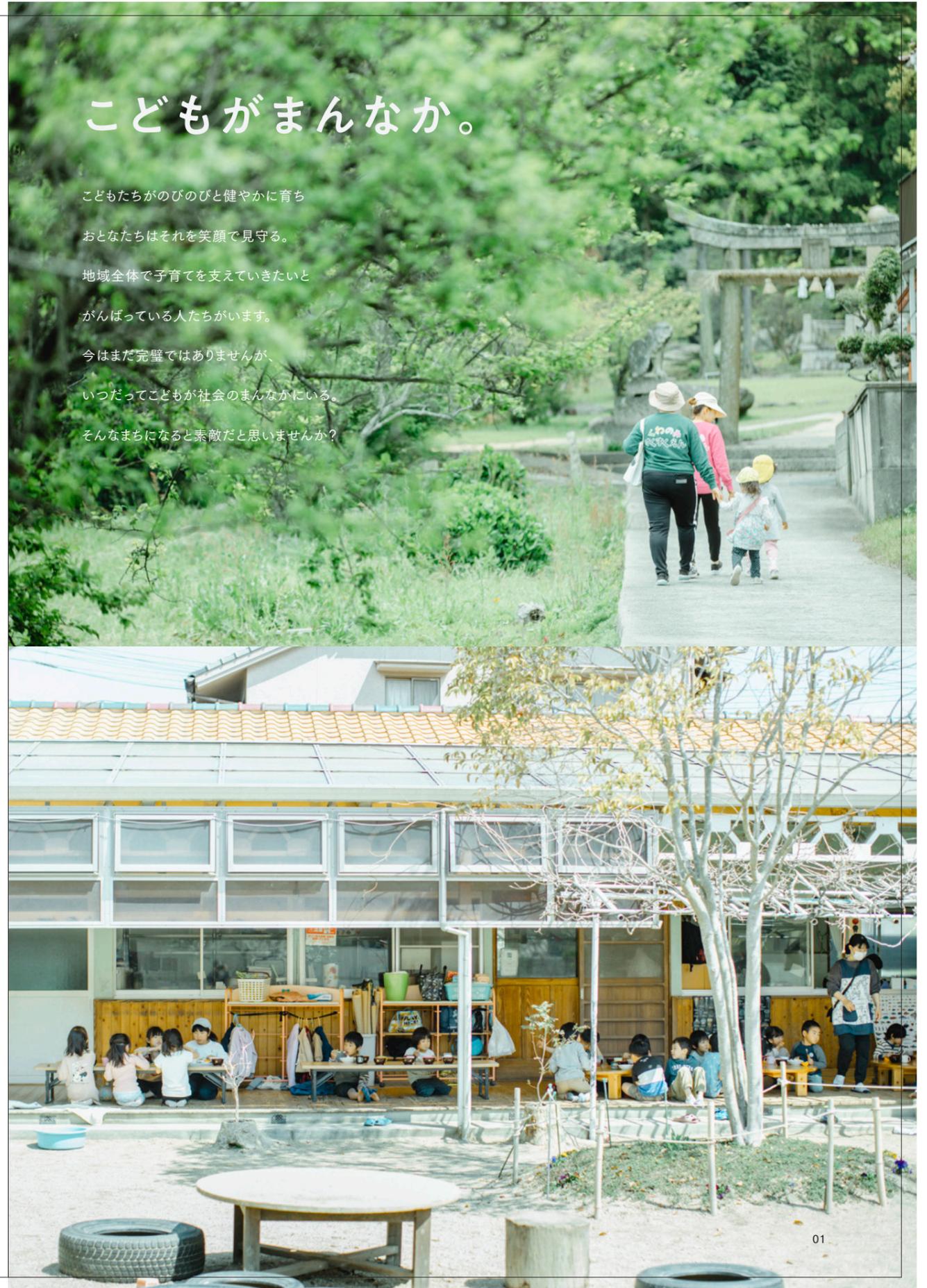
地域全体で子育てを支えていきたいと

がんばっている人たちがいます。

今はまだ完璧ではありませんが、

いつだってこどもが社会のまんなかにいる。

そんなまちなると素敵だと思いませんか？



富岡保育園

—
自由な“あそび”を通じて
子どもたちの自主性を育む

江戸時代末期の古民家をリノベーションした建物特徴的な『富岡保育園』。広々とした園庭にブランコやすべり台といった遊具は一切なく、樹木と小高い丘があるのみ。歓声を上げ、元気な足音を響かせながら走り回っている子どももいれば、タイヤやビールケースといった道具を自由自在に組み合わせ、想像の世界で夢中になって遊ぶグループや、室内で絵を描いている子どもたちもいる。まさに子どもは遊びの天才。遊具やおもちゃがなくとも、自ら環境に働きかけ、アイデアの限りを尽くして空間を楽しみ尽くしている。『富岡保育園』の園目標は『あそべる子ども』。



八百屋さんが野菜を届けるついでに子どもたちとおしゃべりをしたり、近所のおじいちゃん子どもたちが園庭で一緒に遊ぶ、なんて風景もここでは当たり前。村上さんは、「地域の人が出入りすることで、まち全体で見守ってくれているという安心感があります。子育ては社会全体で責任を持たなければいけません。親以外の大人に認められることは、子どもにとってこの上ない喜びになるし、小さな世界がグンと広がります。子育てはまちや社会のまんなかにあるべき。保育を中心とした地域づくり、まちづくりに今後も積極的に取り組んでいき

『富岡保育園』が大切にしていることの一つに、地域とのつながりがある。地域や社会全体で子どもたちを見守り育てていきたいとの思いから、園をひとつの村（とみほ村）ととらえ、あらゆる世代や職業の人たちとの交流を積極的に受け入れているのだ。園内にある私設公民館『とみほ村文庫』は誰でも利用でき、地域の人の会合などにも利用されている。

子どもにとって生活の基本は遊びであり、遊びからさまざまなことを学んでいくと考えている。また、子どもたちの主体性や自主性を育むため、年齢別のクラス分けを廃止。副園長の村上さん曰く、「自主性や社会性は大人の管理下ではなく、子ども同士の関係でこそ育むことができます。子どもには子どもならではの社会があり、子どもだけの世界を大切にしたいんです。私たち大人は過干渉、過保護にならないよう注意しながら見守りますが、これが実はとても難しい。子どもたち一人ひとりの個性を理解した上で目と心を配り、必要なときは手を差し伸べます」

今日は何をして遊ぼうか、それを考えるのも子どもたち自身。一人でのんびり過ごしても良いし、仲間と外で水遊びをしても良い。中には、給食用のご飯を炊くために米ときのお手伝いをする子どももいる。「今日のお米ときは私がやりたい」「今日は僕がやる！」と、子ども自身が立候補してお手伝い。いつの間にか人気の活動になっ

shop date
笠岡市富岡605
☎ 0865-62-2487
<https://www.tomiho.jp>



杉本 和歳さん
布留川 真紀さん
タイラーデザイン事務所 代表
一級建築士事務所ぐるり舎 代表
—
二拠点生活を経て見つけた
家族3人の豊かな暮らし

<https://tailordesign.jp>
<https://gururi.sunnyday.jp>



グラフィックデザイナーの杉本和歳さんと建築士の布留川真紀さん、そして息子の麓くん。数年にわたって笠岡と東京の二拠点で生活をした後、2023年2月から暮らしの拠点を笠岡に置いている。瀬戸内海を見下ろすシェアアトリエ『海の校舎』に事務所を持つ2人。「現在も仕事は二拠点です。海の家との出会いは、暮らしのベースを東京から笠岡にシフトする大きなきっかけになりました。ここにいると、何でもできそうな余白を感じられるんです」と和歳さん。「大切なのは、私たちがリラックスして笑顔で過ごせること。息子には、好きなことに打ち込み、

好きなものについて話している私たちを見てほしい」と真紀さん。「海の校舎には、自分の手で何かを生み出す人たちがたくさんいます。そういった人たちの言葉を聞き、背中を見て育ってほしい。この恵まれた環境の中で、人としての根っこ部分を育んでいけたら」とも話してくれた。笠岡と東京を比較するのはなく、あえて移住・定住といった形にもとらわれない。家族にとって必要なものが複合的にそろっている場所を選ぶ。それは特別に思えるけれど、とても自然なこと。そして、豊かな暮らしにつながる大切なヒントなのかもしれない。

子育て世代にインタビュー。“笠岡で子どもを育てるとのこと”

玉置 裕美さん
介護職／バリデーション講師
—
このまちだからできた
自分らしく前向きな子育て

笠岡へと移住し、夫と2人の子どもとともに暮らす玉置さん。慣れない土地での子育てに悩みながらも、前向きに過ごしてこられたのは、大井児童館を拠点に活動する母親クラブとの出会いだ。児童館は子どもが安心して遊べるだけでなく、母親になりたての私が笑えたり、悩みを打ち明けながら泣くことができ、シエルターのような場所。どんなときも温かく受け入れてくれる職員さんや母親仲間との出会いが、日々の彩りと励みになりました。

出身者でなくても、を温かく受け入れてくれる大らかさもこのまちの魅力と語る玉置さん。地域とともに子育てすることの大切さを実感したそう。「民政委員さんの家庭訪問や一時預かりなど、笠岡は子育てに関する支援が充実しています。公民館や子育て支援センターなどでは親や子を対象にした行事も開催され、公園がたくさんあるのもうれい！」





子ども用のメニューやサービスが充実！
親子で訪れたいカフェランチ

キッチン サニー
kitchen SUNNY

—
子どもの好きを詰め込んだ
よくばりプレート

- 1 1.選べるキッズプレートはドリンク付きで450円(小学生以下)。ミニうどんやミニカレー各150円もある。2.平日限定のSUNNYランチ1,500円は数量限定。3.ミントグリーンや壁がオシャレな店内。インテリアや装飾にも2人のセンスが光る。4.白壁にアンティークグリーンの扉が映える。
- 4 3 2

shop date
笠岡市神島3976-1
☎ 080-6454-0032
◎ 11:00~16:00 (L.O.15:30)
※ランチは~14:30
◎ 日月・祝
◎ あり

保育園で子どもたちのために給食を作っていた経験を持つ姉の万理子さんが、妹の奈美さんと一緒に営むカフェは、やさしさに満ちた陽だまりみたいな場所。「こんなお店があったらいいな」をカタチにしたという店内には、授乳やおむつ交換に使えるベビールーム、おもちゃやDVDが用意されたキッズスペースなど、子育て中のママである2人のアイデアが随所に生かされている。子どもが好きなものを詰め込んだというキッズプレートは、からあげ、えびカツ、ミートボールからメインをセレクト。

ト。まあるく握ったおむすびや、パンケーキの帽子をかぶったタコさんウインナーもキュートで、子どもたちの食欲をさらにアップさせてくれそう。ママたちにおすすめしたいのは、週替わりのメイン2種類にえびカツやチキン南蛮がセットになったボリューム満点のSUNNYランチ(平日限定)。プリプリ食感とふわふわ食感、異なる2つの食感が楽しめるえびカツも絶品だ。写真映えする見た目が華やかなドリンクや弁当もオーダーできるので、テイクアウトして公園でのんびり過ごすのも良さそう。



ウッドストック

カフェレスト WOOD STOCK

—
思わず歓声上がる！
パフェ風お子さまランチ

- 2 1.お子様ランチ800円(小学生以下)は、ドリンクorデザート付き。2.通常のランチは1,000円〜。日替わりで登場する6種類のおかずからメインが選べる。3.店内には子ども用のイスがあり、予約をすれば個室風になった2階のテーブル席を利用できる。4.カントリー調のウッドハウス。
- 3 1
- 4

shop date
笠岡市吉田429-2
☎ 0865-65-0555
◎ 8:00~18:00 (L.O.17:00)
※ランチは11:00~15:00
◎ 月
◎ あり

のどかな田園風景の中に建つウッドハウスは、いつでもたくさんの人が集う活気にあふれ、穏やかな時が流れている。みんなのお目当ては、日替わりで登場する6種類のおかずの中から、好きなものを自由に組み合わせる。楽しんでランチ。中でも一番人気のハンバーグは、パン粉を付けて焼き上げること、外はカリッと香ばしく中は柔らかくジューシー。隠し味の燻製ベーコンとスパイスがふわりと香る。デミグラス、和風おろし、トマト、照り焼きなどソースの種類が変わるのもうれしい。そして、「テーブルに運んだ瞬間、子どもたちが歓声を上げてくれるのがうれしい」と、店長夫婦が力を入れるのが、パフェのような見た目のお子さまランチだ。サラダとオムライスの上には、海老フライとハンバーグが堂々と鎮座。次は何が出てくるんだろう？と、ワクワクしながらスプーンを持つ子どもたちの笑顔がそのおいしさを物語る。「子どもたちの笑顔が、お母さんたちの喜びですね。子育てに励むお母さんたちを少しでも応援したくて」とも話す。毎日忙しく過ごしている子育てママの、心強い味方になってくれる一軒だ。

笠岡、この おやつ

たかたのたまご 「プリン」

ニワトリの親子がちょこんとった愛らしいプリンは、養鶏場『たかた採卵』が手がける直売所でしか味わえない特別な一品。使用するの、卵、牛乳、砂糖といったシンプルな材料のみ。エサや水にこだわって育てられた鶏の卵は風味豊かでコクがあり、ほろ苦いカラメルソースと生クリームがそのおいしさをさらに引き立てる。弾力のあるかための食感もレトロでうれしい。手土産にしたら喜ばれること間違いなしのテイクアウト用(250円)も要チェック。



プリン300円(店内用)



shop date
笠岡市尾坂2050
☎ 0865-65-1577
🕒 11:00~15:00(L.O.14:30)
※直売所は9:30~17:00
🔥 火、第3水曜
📍 あり

カサオカ スケッチ

カサオカスケッチは、笠岡のすてきなヒト・モノ・コトを発見し、まちの魅力を届けるプロジェクトです。地元の人がわがまちの良さを再認識できるような、近隣エリアの人が好奇心を刺激されるような。笠岡の“いま”を伝え、まちへの愛着を育むことを目指しています。

INSTAGRAM
@kasaoka_sketch



「#笠岡市公式フォトアンバサダー」を中心とするカメラマンが、笠岡のすてきなところ、好きなところを発信しています。フォトコンテストなどのイベントも不定期で開催。

今月の表紙

一列に並んで手洗いをする子どもたち。保育園での微笑ましいひとコマです。一緒に給食をいただく取材チームを快く受け入れ、「となり座る?」と声をかけてくれました。この子たちの未来のために、私たちがやるべきことは何だろう? 大人のみなさん、ともに考えましょう!

編集後記

少子高齢化や出生率の低下、そんな言葉によって未来をネガティブに感じてしまいがちですが、保育園に行くと、子どもたちは懸命に、そして楽しそうに今を過ごしていると思えました。そんなキラキラ輝く子どもたちにとって、おもしろい大人でありたいですね。

カサオカスケッチ 04
2023年3月31日発行

発行 笠岡市政策部定住促進センター
編集 クラモトマオ
デザイン 長友 浩之
写真 西 はる子 (hale)

お問い合わせ
笠岡市役所 定住促進センター
〒714-8601 岡山県笠岡市中央町1-1
Tel: 0865-69-2377 Fax: 0865-69-2376

(我がまち、自慢のイッピン)



フラッグシップデザインの<カサブランカ>38,500円(右)、<キッズセーラー>11,000円(左)

石田製帽 「ストローハット」

晴れの日がもっと楽しくなる日々の帽子

1897年に農業用麦わら帽子の製造会社として創業し、現在は4代目にあたる4人の兄弟妹が中心となつてものづくりに励む『石田製帽』。市内の小学1年生に麦わら帽子を寄贈するなど、笠岡の土地と人、そして暮らしと深くつながっている存在だ。「帽子はファッションの主役ではなく、あくまで装いを引き立てる脇役」との思いから、ヘーシックかつ美しいフォルムを追求。時代を超えて愛されるシンプルなデザインが、何気ない日々にとろと寄り添ってくれる。しなやかで心地良い着触感や、型崩れしにくい丈夫さも、職人の手から手へと伝わってきた高い技術力の賜物。お気に入りの帽子がひとつあるだけで、暑い夏のおでかけが、もっと楽しみになりそう。この夏は、どんな装いにもしっくりなじむ上質なストローハットを、親子でさらりとそろえたい。

shop date
笠岡市小平井682
☎ 0865-62-2088

オンラインショップのほか、『林源十郎商店』『ONOMICHI U2』をはじめ全国の百貨店やセレクトショップなどで取り扱いあり。

<https://www.ishidaseibou.com>

